

3類型	農林水産物	通巻番号	3-23-166
地域資源名	ポポー	認定日	平成24年2月3日
地域	茨城県日立市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：日立市のポポーを活用した関連商品の開発・販売による町おこし事業

会社名：株式会社十王銘産観光

所在地：茨城県日立市十王町高原411

連絡先：TEL：0294-39-2086

FAX：0294-39-2086

事業概要(新たな活用の視点)

日立市産のポポーを活用し、プレミアム銘菓シリーズを開発する。本事業では、当社の所有するポポーから作る、冷凍生ピューレやジャムペーストを活用し、地域の菓子店・レストラン、ホテル・旅館や小売店等と連携しながら商品開発及び販路開拓を行う。本事業により、付加価値の高い銘菓・土産品を日立市を訪れる出張ビジネスマンや観光客向けに提供し、土産品購入需要に対応する。このように、地域が一丸となって「日立市のポポー」を域内から域外へ発信し、「日立市のポポー」の知名度を高め、集客力向上を図ることにより地域活性化を目指す。



日立市産ポポー

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

ポポーは、熟成してから食べられる期間が非常に短く、生冷凍以外は市場に出回っていない希少性の高い果物である。当社は、全国でも唯一、ポポーを使った商品開発を進めている企業であり、栄養価分析、加工方法、原料供給体制、増産方法及び保存方法等の20年に及ぶノウハウの蓄積がある。これらのノウハウを元に、洋の東西を問わない銘菓の開発を地域一丸で行うことで差別化を図る。



ジャムペースト(試作品)

◆市場性

出張帰りのビジネスマンや観光客は、ご当地ならではの土産品を購入する傾向が見られ、特に食品分野ではこの傾向は顕著である。そのため、県内・市内を訪れるビジネスマンや観光客をターゲットとした事業展開を行う。一方、ポポー祭りの開催やポポー観光農園の開設により、地域住民をはじめ、県外にも「日立市のポポー」の知名度を高めていく。

◆販路

既存の市内小売店や物産センターの他、新たな販売ルートを開拓する。また、商工会、市観光課や観光協会等とも連携し、催事販売等による販路拡大を行いつつ、「日立市のポポー」のブランド力強化を推進する。さらに、域外の百貨店、駅売店、ホテル及び首都圏百貨店等での販売網を拡大し、知名度向上を図る。



ワッフルロール(試作品)

地域資源における関係事業者との連携

地元事業者、行政、商工会議所、商工会及び観光協会等との連携の下、本事業を通じて観光客や地域住民へ商品を提供することにより、地域の連携企業や販売店を含めた地域経済の活性化、地域全体の発展と雇用創出を図る。また、ポポー生産農家との連携により、ポポー観光農園の開設や、市民参加型のポポー祭り等のイベントを開催し、町おこしの礎とする。